

また出石小跡地に両備マンション!? 岡山市は開発会社ですか？ **なぜ!?**

市政の大切な役割は市民の暮らしを守ることです

萩原市長になってから岡山市がどんどん開発会社のように
なっています。借金は増えつづけています。
建設関係の会社の社長さんからも「こんな岡山市でいいのか」
の声が出はじめました。そこで、萩原市政の6年間で今年の2月
定例会議の論議を加えてご報告します。

出石小跡地を月/坪680円で 54年間両備に貸付け

学校を廃校にしてマンション建設?こんなことが許されていいの
でしょうか。しかも、建築主はまた両備バスです。計画では8億6
千万円もの市民の血税を補助金として支出する予定です。土地の貸
付料は月坪680円という破格の安さです。貸す期間はなんと54年間?
さらに、両備バスが市から借りた土地にはベネッセコーポレーシ
ョンが高齢者の介護付き優
良マンションを、またコナ
ミススポーツが温浴施設・温
水プール・体力向上などの
健康増進施設をつくる予定
です。市民の教育財産が、
このように特定企業の事業
につかわれていいのでしょ
うか。

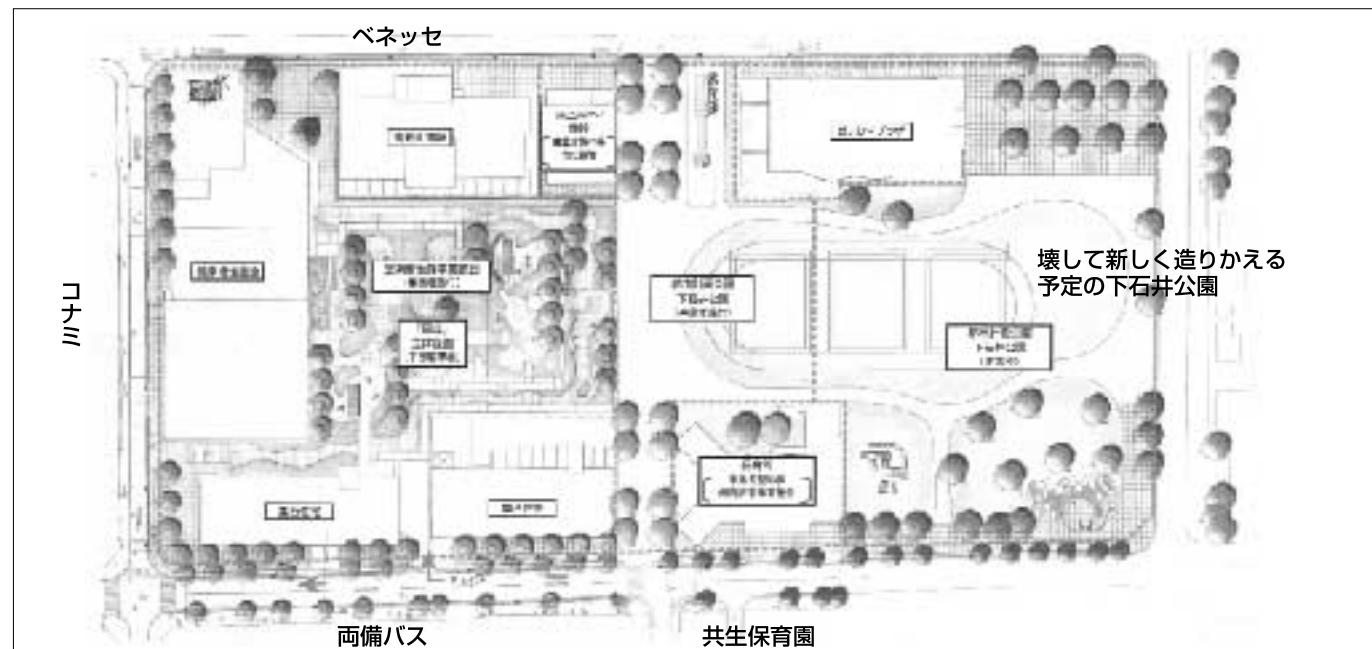


なぜ壊す 下石井公園!?

下石井公園は10年ほど前に4億1千万
円かけてリニューアルし、市民に親しま
れている公園です。水路・噴水や屋外舞
台、そして敷石などを1億円かけて全て
壊して両備バスのマンションの中庭と一
体化を計るというのです。無駄遣いでは
ないでしょうか。

なぜ共生保育園だけを 特別扱い!?

旧出石幼稚園舎は、いま共生保育園が暫定園舎とし
て使っています。ところが、暫定ではなく、今度はい
ずし保育園(仮称)として新設保育園をつくるという
のです。「なぜ共生保育園だけに便宜をはかるのか。
不公正だ」との意見を振り切った萩原市長の暴挙で
す。しかも、土地代はタダです。おかしいですね。



萩原市長になってから **つきつき** おかしなことばかり

後援会長に市の 土地をタダ貸し

(社)旭川荘の理事長は川崎病院の有力経営者
の一人です。そして、萩原市長の後援会長です。
その旭川荘に西大寺の新産業ゾーンの入り口の市
の土地を31,000㎡タダで貸しています。せめて固
定資産税分くらいは貸料は当然ではないでしょ
うか。どんなに暮らしが苦しくても市民には固定
資産税の減税制度がありません。「市長の後援者
だから無料」は不公正です。

深柢小跡地に 川崎病院?

「深柢小を廃校にして跡地に川崎病院を移転す
る。市民病院は操車跡地に移転する」との計画
から「噂」されてきました。今、その計画が実行
に移されようとしています。これに対し、深柢学
区各町内会はせめて文教施設の誘致を反対して
います。「市民の教育財産をなぜ川崎病院のため
に?」と学区のみなさんはおっしゃっています。

市民病院をなぜ移転?

川崎病院にとっても医療法改正でベッドや廊下
などの施設改善が待たない時期。深柢小跡地
は、「喉から手がでるほどほしい土地」です。し
かし、川崎病院が移転すれば市民病院と地域がよ
り競合ようになります。そこで、市民病院は
操車跡地へ。川崎病院にとっては、うれしい話
ではうれしい話ではありません。

解同・伊澤派への 補助金は市規則違反

部落開放同盟(解同)岡山県連合会が内部分裂
し、抗争をつづけています。「8,700万円持ち逃
げされた」とか、「パソコンを持ち逃げした」と
われています。しかし、これらの抗争もおこな
っている「財産」はもとは市が出した補助金、つま
り、市民の税金です。ところが、こんな状況であ
りながら、萩原市長は解同・伊澤派に昨年未補助
金を246万円支出しました。これは岡山市補助金
等交付規則違反です。
平成17年度予算でも全日本同和会に630万円、
解同伊澤派に3,149万円もの予算を組んでいます。
私たちは、同和団体への補助金は廃止すべきと考
えています。このような解同・伊澤派べったりの
市政が許されるのでしょうか。

土地代坪83円/月の 工場誘致!?

新産業ゾーンの工場誘致では、土地開発公社が
保有したまま、破格に安い年坪990円(月坪83円)
で貸しています。駐車場は一台(約4坪)月5千
円(月坪1,250円)が相場です。しかも固定資産
税ももらっていません。せめて固定資産税をも
らうとすれば総額で2,780万円になります。

使えないジャンプ台 どうするの?

岡山ドームの隣にアクションスポーツ施設があ
るのをご存知ですか。エックススポーツジャンプ
社が運営しています。もともと市長が誘致したの
ですが、市の土地をタダで借りているにもかかわらず
赤字です。そこで、市長はこの民間企業エッ
クススポーツジャパン社にドームの管理委託をさ
せて利益をあげさせています。しかもこの会社は
ジャンプ台の支払いをめぐって係争中。ジャンプ
台は誰にも利用されないまま放置されています。

暮らしを守る 防波堤の役割を!

今年には戦後60年、被爆60年の節目の重要な年です。「2度と
戦争はしない」が戦後の原点でした。この立場が国連憲章の土
台となり、現在の憲法をつくり、世界に先駆けて恒久平和主義
を決議して日本は国際社会に復帰しました。また、朝日茂さん
が命がけで闘い、前進させた生存権は憲法25条がよりどころ
でした。ところが、小泉内閣の下で憲法、教育基本法が改悪
され、また、構造改革の名の下に国民のくらしが破壊されつ
つあります。

岡山市は憲法を暮らしに活かしながら、市民の暮らしを守る
防波堤としての役割を果たさなければなりません。日本共産党
岡山市議員団はみなさんとともにこの実現をめざしてがんばりま
す。



市議員 藤沢和弥



市議員 田畑けんじ



市議員 崎本とし子



市議員 竹永みづえ



市議員 稲葉やすこ

岡山市政ニュース 日本共産党岡山市議員団

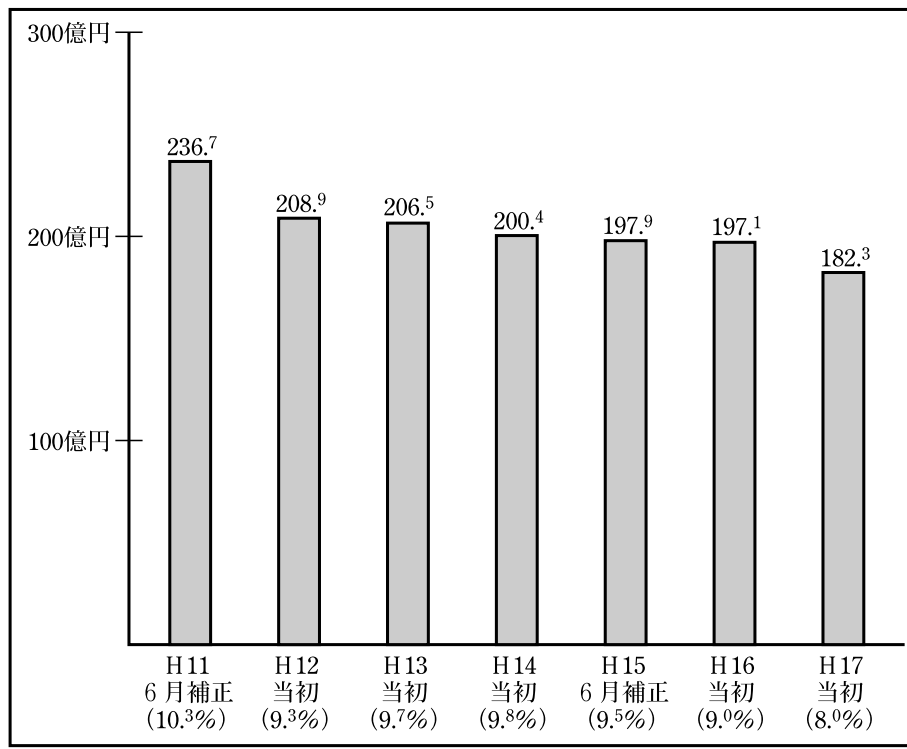
2005年3月 岡山市大供1-1-1 ☎803-1707
<特別号> (内線4370・4371)
E-mail kyousantou shigidan@city.okayama.okayama.ne.jp
http://okjcp.web.infoseek.co.jp/dn/index.html

一緒に力を合わせましょう 夢と希望がもてる新しい福祉型社会を！

なんとかしたい!!

こんなに減らされた教育予算
教育予算が減らされています。萩原市長が当選した年の平成11年6月補正予算は236億7千万円でした。一般会計に占める教育費の割合は10.3%。ところが、17年度の当初予算の額は182億3千万円で、割合は8%に。6年間毎年減額されつづけた結果です。今、教育が大切なとき。子どもが輝く市政にしたいものです。

教育予算の推移 () は一般会計に占める教育費の割合

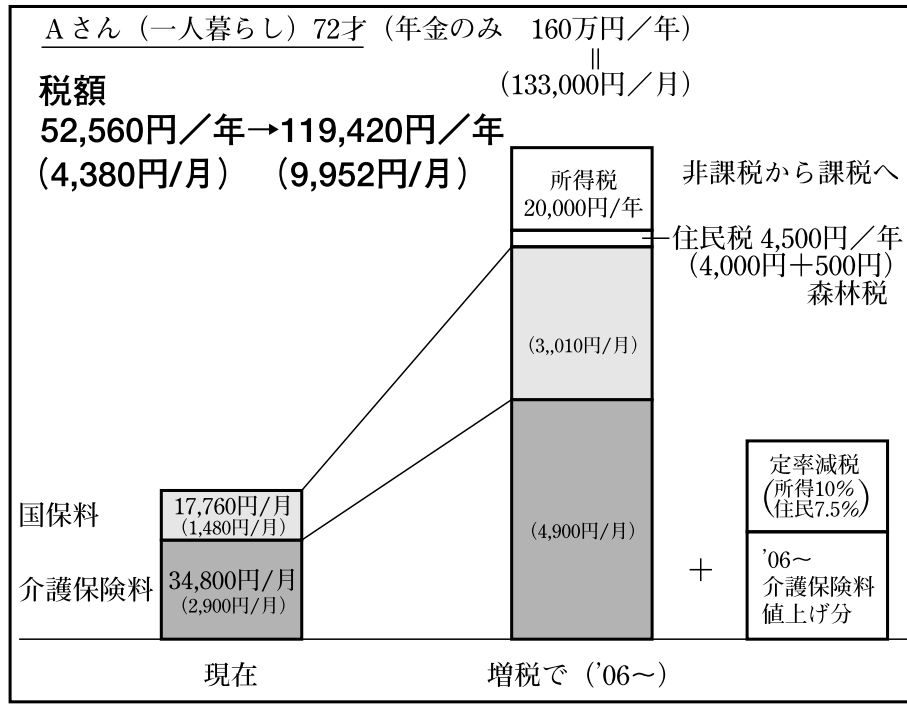


駅元再開発・西口開発に600億円
駅元再開発ビルの建設が急ピッチです。駅西口開発が並行してすすまれています。併せて約600億円もの巨大開発事業です。「お金がないから」と市民の生活は後回しにしていますが、大規模公共事業には、ドカンと税金をつかいます。こんな市政でいいのでしょうか。

市がホテル部分の保留床取得!? その額24億円!
全日空ホテル（ホントの経営者はホテル第1イオンを営んでいた株式会社レイで全日空は名義貸し）が断ったホテルの保留床を約24億円で岡山市が買うとのことです。ホテルの床を岡山市が買うのでしよう。

年金増えず、負担は2倍に!
一老年者控除廃止の影響が深刻—
税制見直しの影響が深刻です。一人暮らしで245万円だった非課税限度額が老年控除の廃止と年金控除の縮小で155万円まで下がります。Aさんの例を右図に示しました。年金収入のみで年取160万円。非課税だったものが、24,500円の課税になり、介護保険料が2段階から4段階へ上がり、収入は同じなのに1年間の負担額が52,560円から119,420円へと約7万円近くの大増額。増税反対の声を上げると共に、暮らしを守るための市の対策が必要です。高齢者が安心して暮らせる岡山市にしたいものです。

税負担増・高齢者を直撃



西備バスのマンションに20億円も補助
柳川交差点に建設されている（西棟のグレースタワーは完成済み）マンション2棟分の事業費の1/3（約20億円）が税金で補助されています。「後楽園の景観を壊して岡山人は何を考えているのか」と京都新聞で批判されたマンションです。次々と建設される再開発ビルに巨額の税金を投入する萩原市長ですが、両備マンションに対する税金投入は県の出さなかった補助金を市が肩がわりするなど、特に際立っています。

日本共産党岡山市議団はみなさんと力をあわせて 市民の願いを一步一步実現させています

津波被害に備え、避難場所は高く
昨年は台風16号など自然災害が多くあり岡山市の被害も大変でした。共産党市議団は、浸水被害家屋の支援策などもとめて奮闘し、市・県・国へ地元の声を届けました。今後東南海・南海地震が30年以内に50%の可能性をおきくと想定されており、対策がもたらされています。2月議会では防災情報無線システムの構築や避難場所を津波、内水被害に備え高い場所で確保するとの方向を確認。津波や液状化被害が想定されている岡南飛行場にあるヘリコプターの格納庫は岡山空港付近へ移設することを提案中です。

新しい岡山市をいまに!
2市2町ではじまった合併・政令市をめざす萩原構想。瀬戸町と玉野市が離脱して政令市構想は破綻しました。瀬崎町と御津町は多数の住民の意向とは違って強引に合併が推進されました。しかし、ここでも推進側の思惑がはずれ「編入合併」「編入選挙」となりました。合併が決まった以上、岡山市のどこにすんでいてもいいまちにしなければなりません。心新たにがんばります。

環境を大切に
京都議定書が2月16日に発効しました。岡山市は、自然エネルギーに切り替える努力をして、CO₂を減らさなければなりません。市も環境基本計画を見直して新エネルギーを市有施設に取り付ける努力をはじめます。党市議団はゴミを徹底分別してゴミを出さないゴミ行政に転換し、3つの焼却場のうち、岡南環境センター（焼却場）の廃止を提案。約7億円の運営経費を削減し、福祉予算にまわすようもとめています。

DV被害者支援策前進
超党派の女性議員との連携をすすめ、夫やパートナーからの暴力に悩む被害者を支援する対策を前進させています。岡山市は配偶者暴力相談支援センターを設置し、最近、民間シェルターが開設されました。
〔DV相談ほっとライン〕 ☎803-3366 (火曜日が休み)

福祉事務所の体制充実
生活保護の申請や各種福祉相談の窓口が福祉事務所です。ケースワーカーの確保が課題でした。4月1日から3事務所を増員され、体制が充実します。

元気な中小企業育成を
中小企業が元気になるには地域金融と市の支援策が不可欠です。金融支援と経営指導はかなりの前進を見えています。しかし、全体としての位置づけや支援策は平成17年予算商工費約18億円（全体の0.3%）であり、これからです。市の本格的な取り組みを前進させるようさらにながらみます。

平和資料館(いずし館)移転先決まる!!
これまで出石小跡地の校舎の一角を借りて岡山空襲出石資料館(いずし館)をオープンしていましたが、両備バスのマンションが建設されるため立ち退かなければならなくなっていました。4月1日に岡山市勤労者福祉センターの一角に移転することが決定。戦後60年の今年、平和教育の拠点がりニューアルオープンします。

市場を元気に!
中央卸売市場の活性化構想と、3年間のアクションプランができました。今年には荷さばき場の予算がつき市場感謝デーも実施予定。共産党市議団の提案が実現しました。

地産地消で元気な農業を
「農業は文化」との位置づけをして市の支援策の充実をもとめてがんばっています。岡山市の農家の85%が兼業農家ですから、その支援策が必要です。また、地産地消の取り組みをもとめ、地産地消推進室の設置など本格的な取り組みを求めています。「地産地消」の学校給食が広がりをみせています。また、JAと共同で米粉パンやテンペ（大豆製品）製造を拡大しました。価格保障など「食べていける」農業政策は今後の大きな課題です。